

事務事業名	さくらおろち湖周辺地域づくり支援事業	所属部	政策企画部	所属課	ダム対策課
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉	所属G	ダム対策G	課長名 西川 徹
	施策名	〈05〉自然環境・景観の保全	担当者名	吾郷雄一	電話番号 0854-40-1012 (内線) 3516
	目的対象	A)自然環境・景観 B)市民 意図 A)自然環境・景観を守り創造する。B)意識を高め自然環境保護活動を実践する。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 4 0 0 5 0 2 項 目 中事業 中事業 0 5 0 5 1 0	ダム対策事業 さくらおろち湖周辺地域づくり支援事業
	目的対象	基本事業名 (013)自然環境の保全 市民 意図 自然環境を守る活動に取り組む。			

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度～)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (23 年度～ 24 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
尾原ダム周辺の住民が参加して自然環境、景観を保全し、観光客数を増加させるため、緑地化作業を行った。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 事務局支援 景観保全	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 事業廃止 (水の縁推進事業に移行)			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 事務局員雇用	人		1	1	0
	イ 景観保全面積	m ²		30,000	40,000	0
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ダム湖周辺	ア 景観保全面積	m ²		30,000	40,000	0
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
荒廃防止を図る。	ア 景観保全面積	m ²		30,000	40,000	0	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)	
委託金:5,600千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円		4,200	5,600	0
		その他	千円				
	一般財源	千円					
	事業費計 (A)	千円		4,200	5,600		
	人件費	正規職員従事人数	人		3	2	
延べ業務時間		時間		278	180		
人件費計 (B)		千円		1,096	705		
トータルコスト(A)+(B)	千円		5,296	6,305			

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
尾原ダム完成により、集客を図るため景観保全ニーズの高まり	取組初年度であるため改善余地無し	さくらおろち湖を中心とした地域づくり活動の充実と環境保全活動による交流人口増加を期待

事務事業名	さくらおろち湖周辺地域づくり支援事業	所属部	政策企画部	所属課	ダム対策課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？																			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？																			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	・事業の継続実施により成果が得られている。																	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	・事業地が荒廃し、観光資源として維持できない。																
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		・さくらおろち湖周辺を一体とし、景観保全を通じた地域づくりを実践する事業であるため、統廃合の余地無し。																
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない																			
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		・当面、この事業を継続し、地域住民の自主的活動が普及すれば事業費の削減は可能と考える。																
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		・必要最小限の人件費を投入しており、これ以上の削減は難しい。																
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		・さくらおろち湖周辺の地域づくりと環境保全を目的に導入した事業であり、費用負担は公平である。																
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																			
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		荒廃防止のため、地元住民等による活動支援であり、非常に有効な事業である。																
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																			
住民による主体的な活動と、持続可能な体制の構築への移行まで継続																				
<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>					コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持	●	×																
	低下	×	×																
住民による主体的な活動と、持続可能な体制の構築への移行まで継続	<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		